



県内経済情勢

平成30年11月1日

※掲載した経済指標等については速報値を含む。


財務省関東財務局

宇都宮財務事務所 財務課

電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」









項目	前回（30年7月判断）	今回（30年10月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	

（注）30年10月判断は、前回7月判断以降、足下（10月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を上回るなど、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（30年7月判断）	今回（30年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	横ばいの状況にある	
雇用情勢	改善している	改善している	
設備投資	30年度は減少見通しとなっている	30年度は減少見通しとなっている	
企業収益	30年度は減益見通しとなっている	30年度は増益見通しとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「上昇」超となっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、海外経済の景気の下振れや為替・原油価格の動向など、地域経済に影響を与える要因に注意する必要があるものの、各種政策の効果や雇用・所得環境の更なる改善により、地域経済が着実な景気回復へ向かうことが期待される。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額は高額商品、化粧品が引き続き好調であったことや猛暑により飲料やアイスが好調であったことなどから前年を上回っており、家電大型専門店販売額やドラッグストア販売額も前年を上回っている。乗用車販売は普通車、軽乗用車が前年を上回っているものの、小型車が前年を下回っている。このように、個人消費は全体として緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 衣料品は厳しかったが、高額商品や化粧品が引き続き好調であり、客単価上昇にもつながっている。また、物産展等の催事も好調で売上高を伸ばしている。(百貨店、中小企業)
- 衣料品は紳士服が低調だったが、婦人服と子供服が好調である。化粧品の売上も大幅に増加している。食料品は台風などの天候不順の影響で生鮮が不調だったが、猛暑の影響で飲料やアイスのほか、ビールが売れている。(百貨店、中小企業)
- 猛暑だったが、車での来客が多いため客足は鈍らず、飲料やアイスがよく売れた。飲料は足りない日もあった。また、青果物が高くなっているが、相変わらず堅調である。(スーパー、大企業)
- 猛暑や高層マンションの建築が多かったことから、エアコンが好調だった。また、過去の家電エコポイント制度や地デジ化の時に購入した方の買い替えのタイミングがきており、4K テレビも好調である。(家電量販店、中小企業)
- 新型車効果により高級車が堅調で、SUV タイプも好調であり、販売台数は前年を上回っている。(自動車販売店、中小企業)
- 小型車の販売は一時よりも落ち込んでいる車種がある。軽乗用車は人気車種があることや、小型車からの乗り換えの動きもあることなどから好調である。(自動車販売店、中小企業)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

生産指数を業種別にみると、電気機械は上昇しているものの、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、金属製品、情報通信機械は低下していることなどから、全体として横ばいの状況にある。

- 共働き世帯や食料品の週末まとめ買いの増加により、冷蔵庫は引き続き大容量のものが売れていることなどから、生産台数は増加している。(電気機械、大企業)
- 車軸部品や鋳造部品の生産量は堅調に推移しているが、主力車種の生産が海外拠点へ移管されたことなどから、生産台数は前年を大きく下回っている。(輸送機械、大企業)
- 海外需要は好調である。地域別の増減はあるものの、総じて大きな変動はないことから、生産量は横ばいで推移している。(生産用機械、大企業)
- 7、8月は、数機種フルモデルチェンジと繁忙期がバッティングしたため、当工場や部品を供給する取引先が混乱し、さらに、取引先も含めて派遣社員が集まらず、部品供給の遅れが生じたことから、生産ペースが落ちている。(生産用機械、大企業)
- 納入先は好調な先も不調な先もあるが、複数先と取引があるため、生産状況は横ばいとなっている。(金属製品、中小企業)

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率が堅調に推移しているなど、改善している。

- 新規採用者は毎年数人採用しているが、30年はゼロだったため、31年は高校を回って、高卒採用を増やしている。派遣会社に募集しても集まらないため、OB等のコネクションを通じて探している。(建設、中小企業)
- ここ数年は定年退職者が多くなるため新規採用者を計画的に増やしている。また、派遣会社を2社から4社に増やしたが、それでも非正規社員は要望人員に満たないことが多く、生産に遅れが生じることもある。(情報通信機械、大企業)

■ 設備投資 「30年度は減少見通しとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」30年7-9月期

- 30年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比49.9%の減少見通し、非製造業では同43.4%の増加見通しとなっており、全規模・全産業では同16.6%の減少見通しとなっている。

■ 企業収益 「30年度は増益見通しとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」30年7-9月期

- 30年度の経常損益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比11.1%の増益見通し、非製造業では同12.7%の増益見通しとなっており、全規模・全産業では同11.8%の増益見通しとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」30年7-9月期

- 景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「上昇」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、「下降」超へ転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅ともに前年を上回っている。

- 「分譲戸建」は、家賃を払うよりいいと考える世帯や、設計を考える手間がいらぬという世帯が増えていることから好調である。(建設業、大企業)

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。

■ 企業倒産 「件数、金額ともに前年を下回っている」



県内経済情勢 資料編

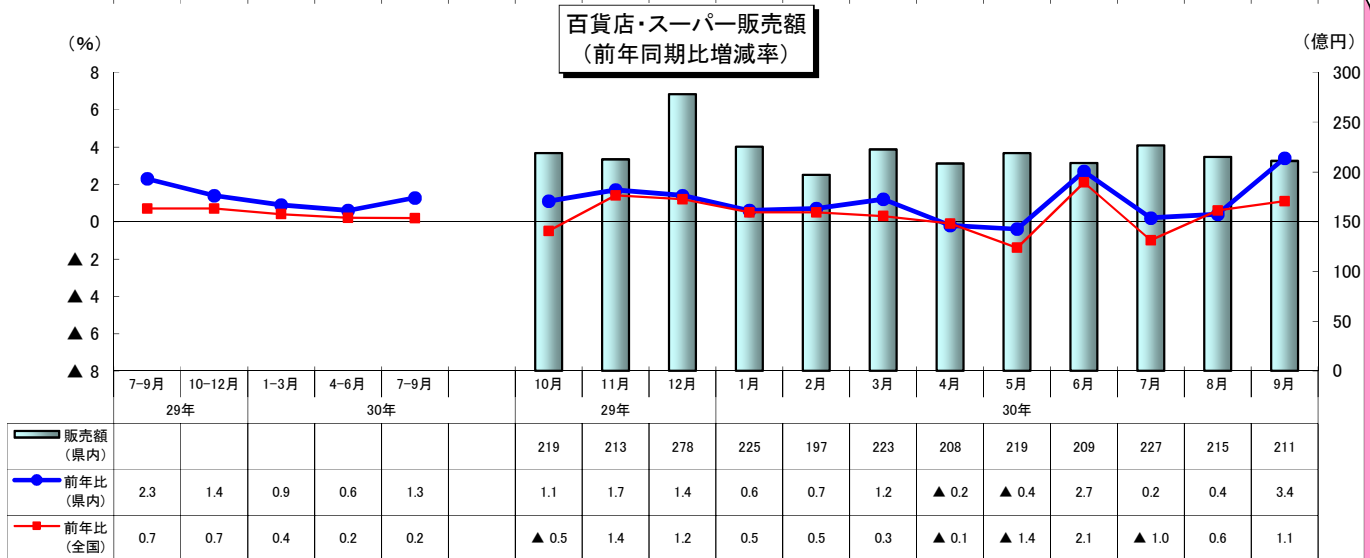
平成30年11月1日

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

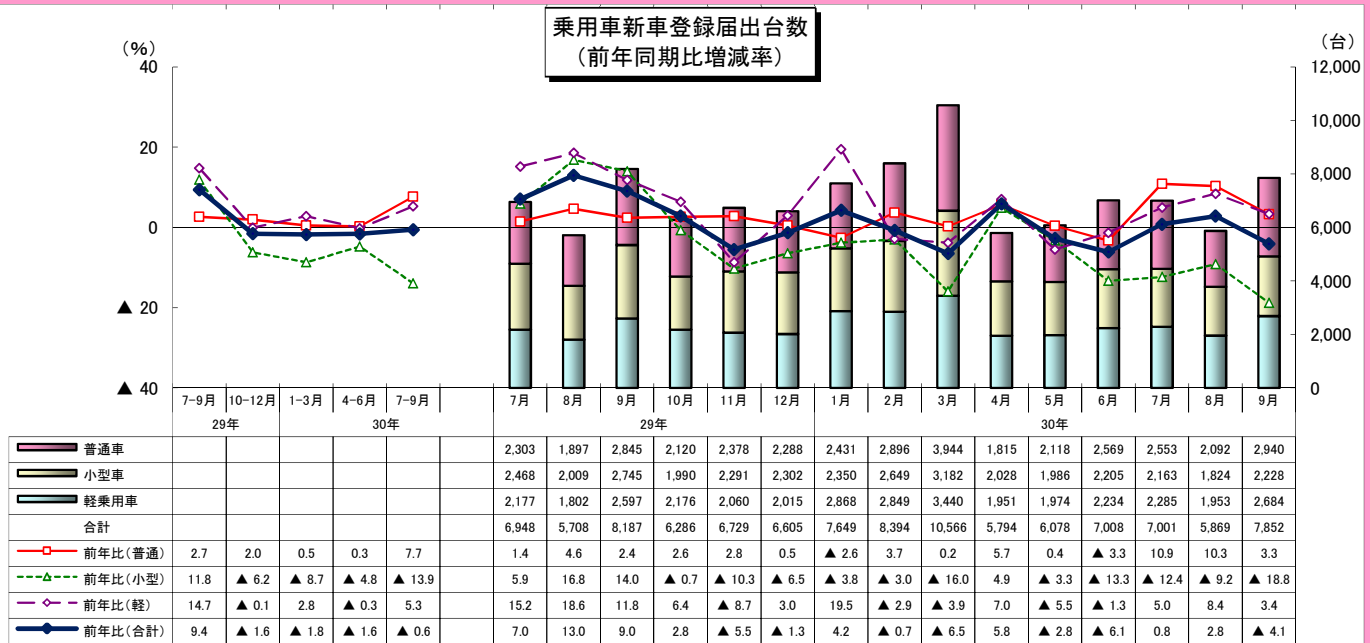
1. 個人消費

緩やかに回復しつつある

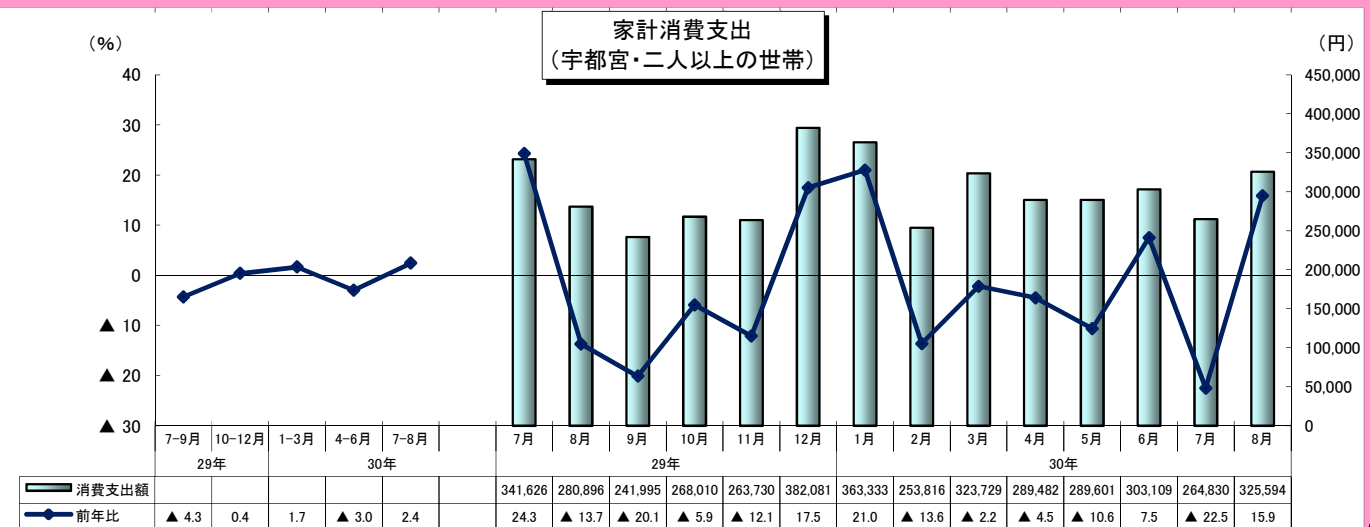


※販売額及び前年同期比増減率は全店ベース。

【経済産業省】



【(社)日本自動車販売協会連合会、(社)全国軽自動車協会連合会】



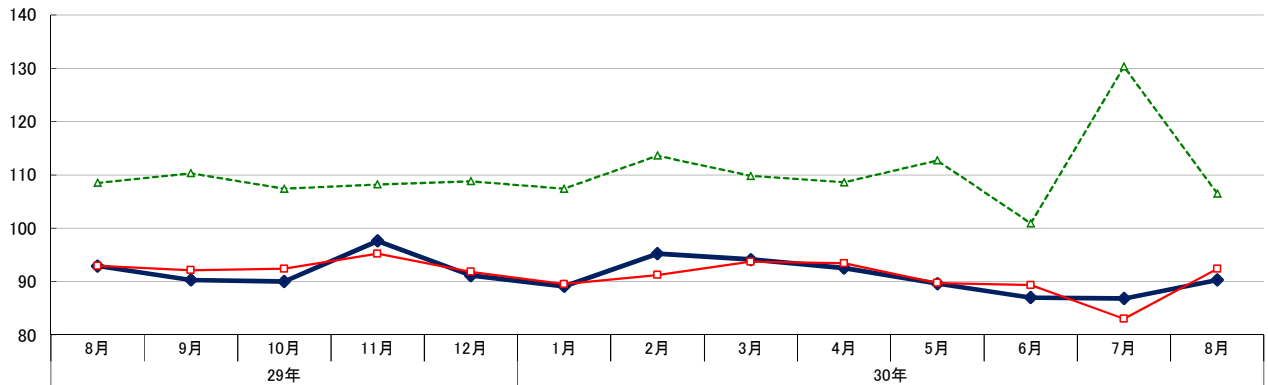
【総務省】

2. 生産活動

横ばいの状況にある

(季節調整済: H22=100)

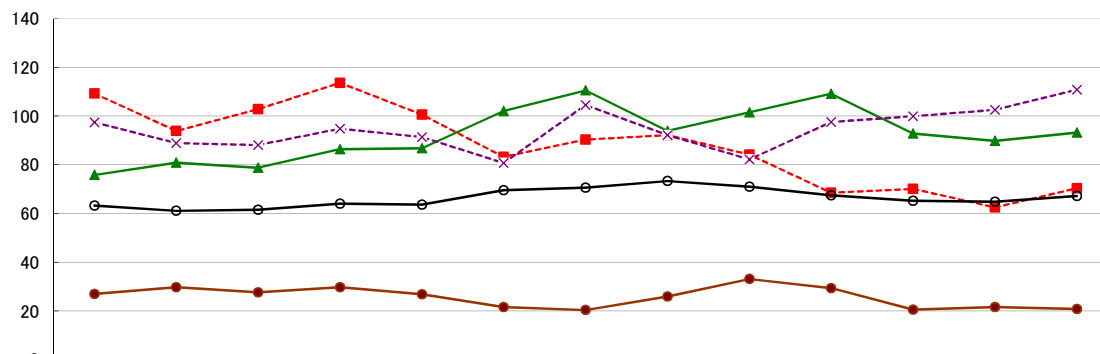
鉱工業指数



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
29年													
30年													
● 生産	92.9	90.3	90.0	97.6	91.1	89.1	95.2	94.1	92.5	89.6	87.0	86.8	90.3
□ 出荷	92.9	92.1	92.4	95.2	91.8	89.5	91.2	93.7	93.4	89.7	89.3	83.0	92.4
△ 在庫	108.5	110.3	107.4	108.2	108.8	107.4	113.6	109.8	108.6	112.7	100.9	130.3	106.5

(季節調整済: H22=100)

鉱工業生産指数(業種別)

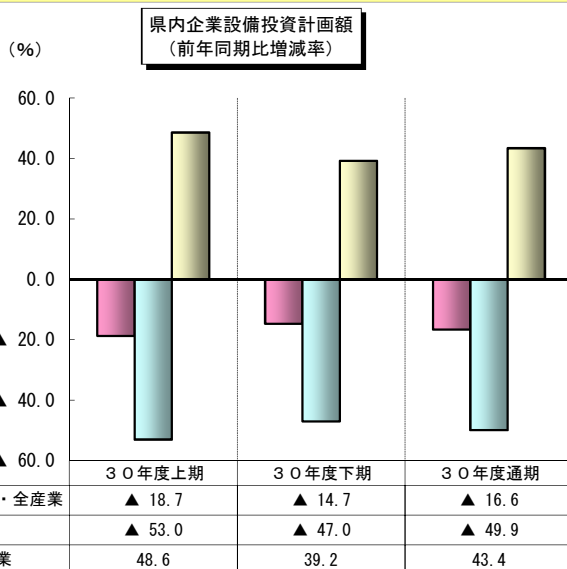


	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
29年													
30年													
■ 輸送機械	109.2	93.8	102.8	113.6	100.6	83.2	90.3	92.1	84.1	68.5	70.1	62.5	70.3
▲ はん用・生産用・業務用機械	75.8	80.8	78.7	86.4	86.7	102.0	110.5	93.9	101.5	109.1	92.8	89.8	93.2
× 電気機械	97.4	88.8	88.1	94.8	91.3	80.7	104.5	92.2	82.2	97.5	99.9	102.5	110.8
○ 金属製品	63.3	61.1	61.5	64.0	63.6	69.5	70.6	73.3	71.0	67.5	65.2	64.8	67.2
● 情報通信機械	27.0	29.8	27.7	29.8	26.8	21.6	20.4	26.0	33.1	29.3	20.6	21.6	20.8

【栃木県】

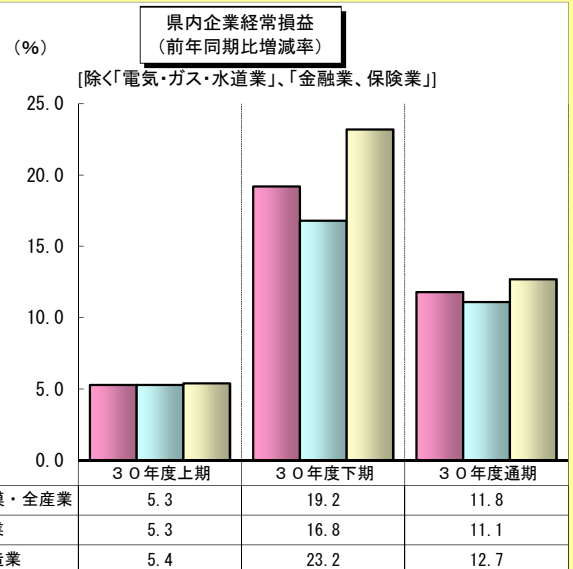
3. 設備投資

30年度は減少見通しとなっている



4. 企業収益

30年度は増益見通しとなっている



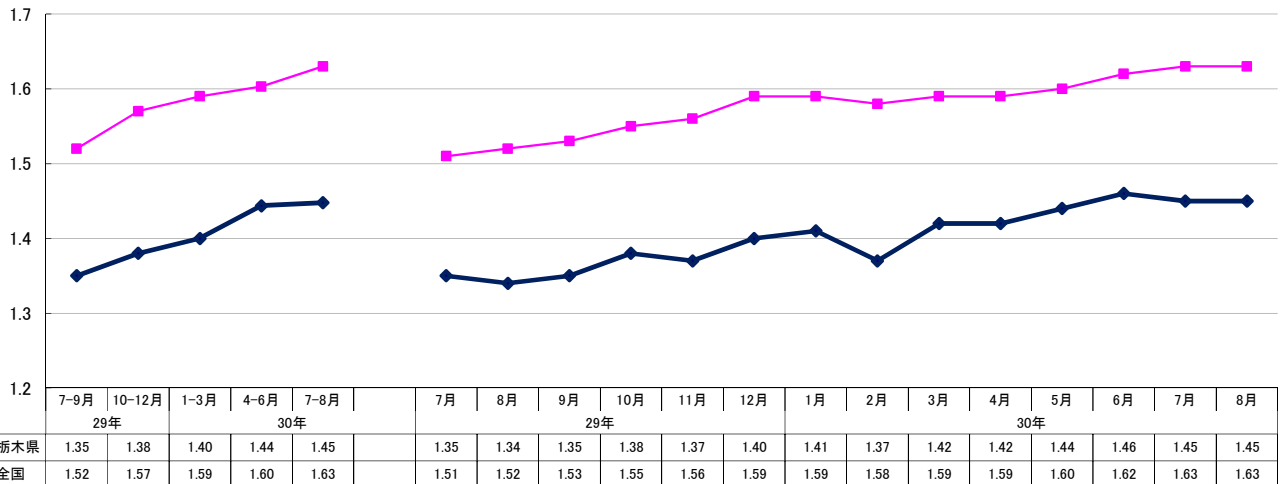
【法人企業景気予測調査(平成30年7-9月期)】

5. 雇用情勢

改善している

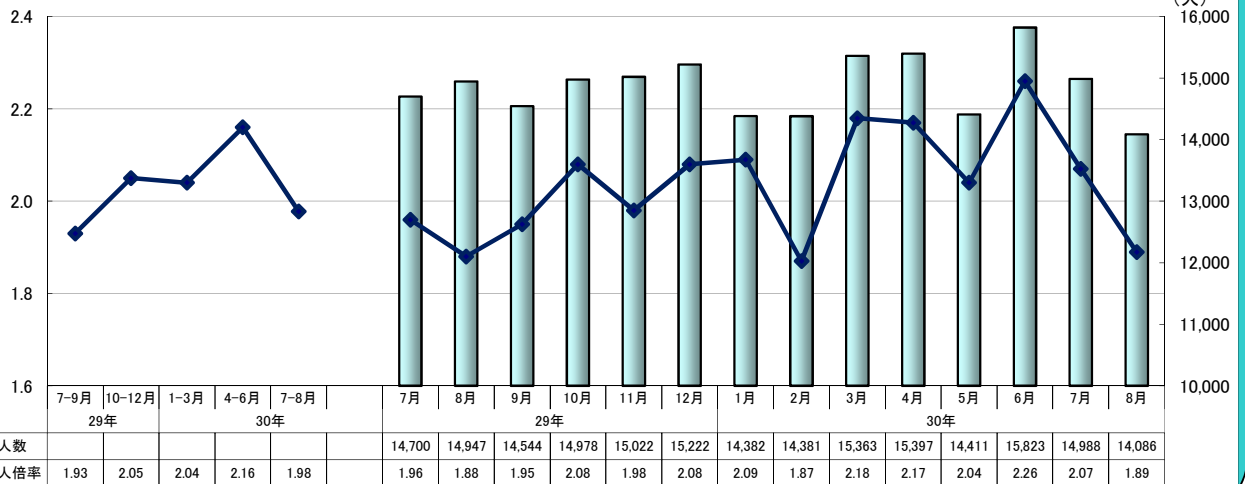
(季節調整値:倍)

有効求人倍率(季節調整値)



(季節調整値:倍)

新規求人数、新規求人倍率(栃木県・季節調整値)



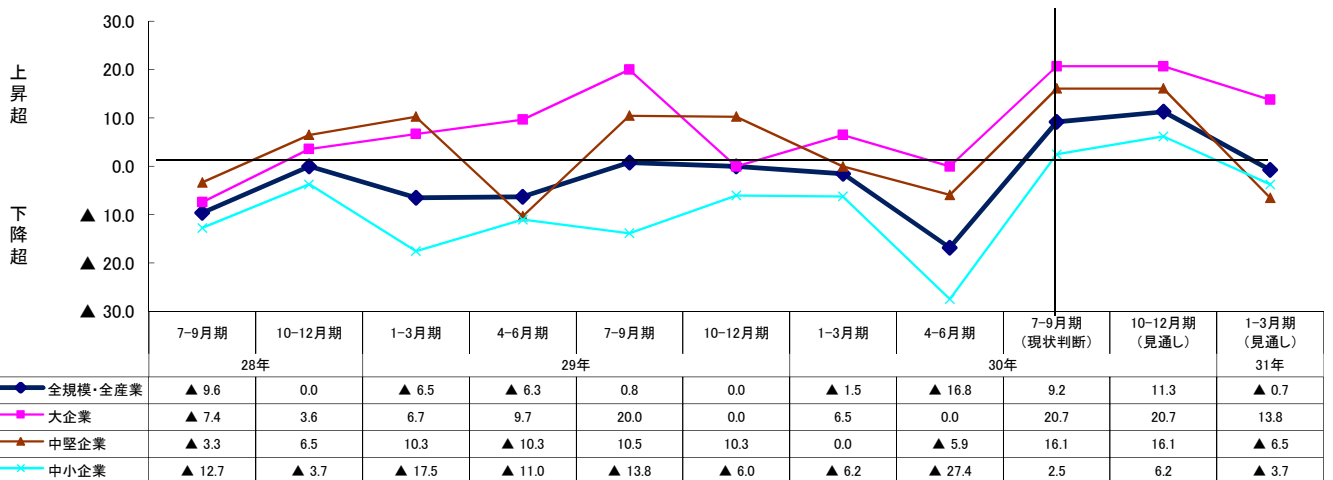
※新規学卒者を除きパートを含む【厚生労働省】

6. 企業の景況感

「上昇」超となっている

(%ポイント)

県内企業の景況判断BSI
(前期比「上昇」「下降」社数構成比)

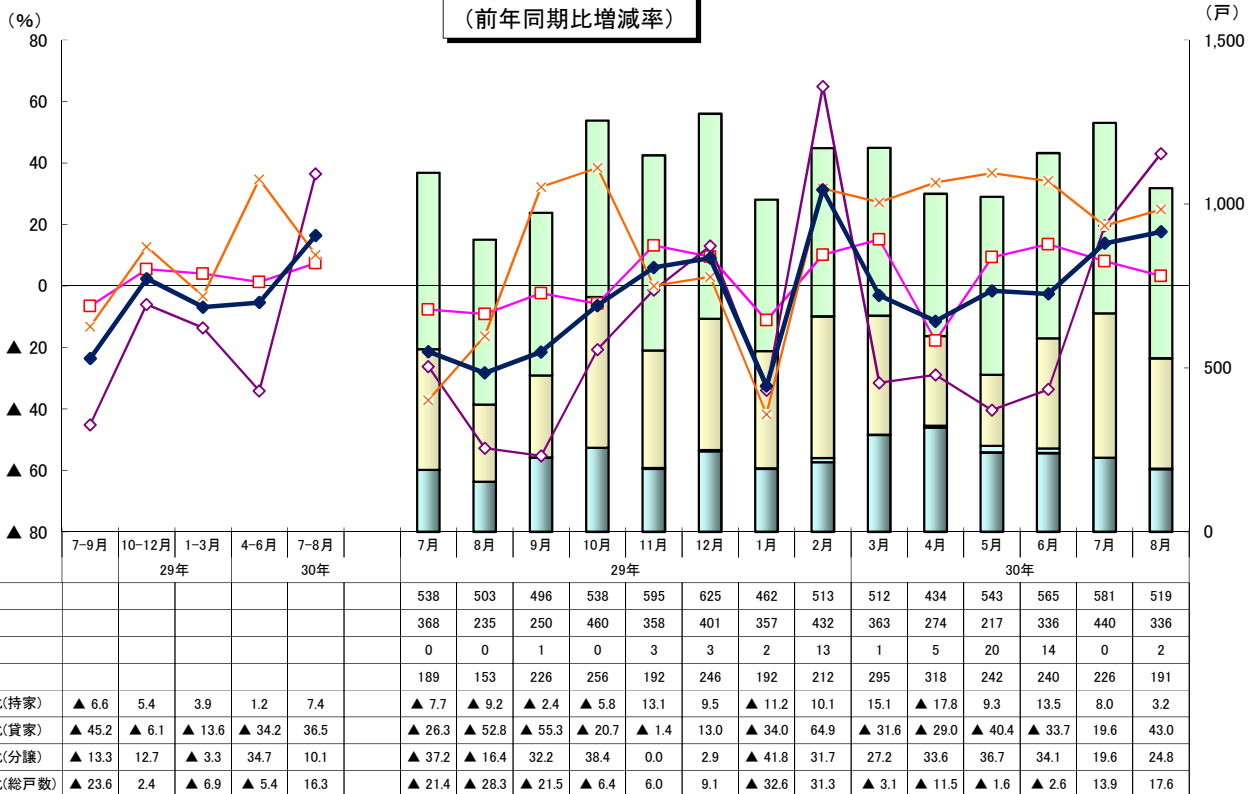


【法人企業景気予測調査(平成30年7-9期)】

7. 住宅建設

前年を上回っている

県内新設住宅着工戸数
(前年同期比増減率)

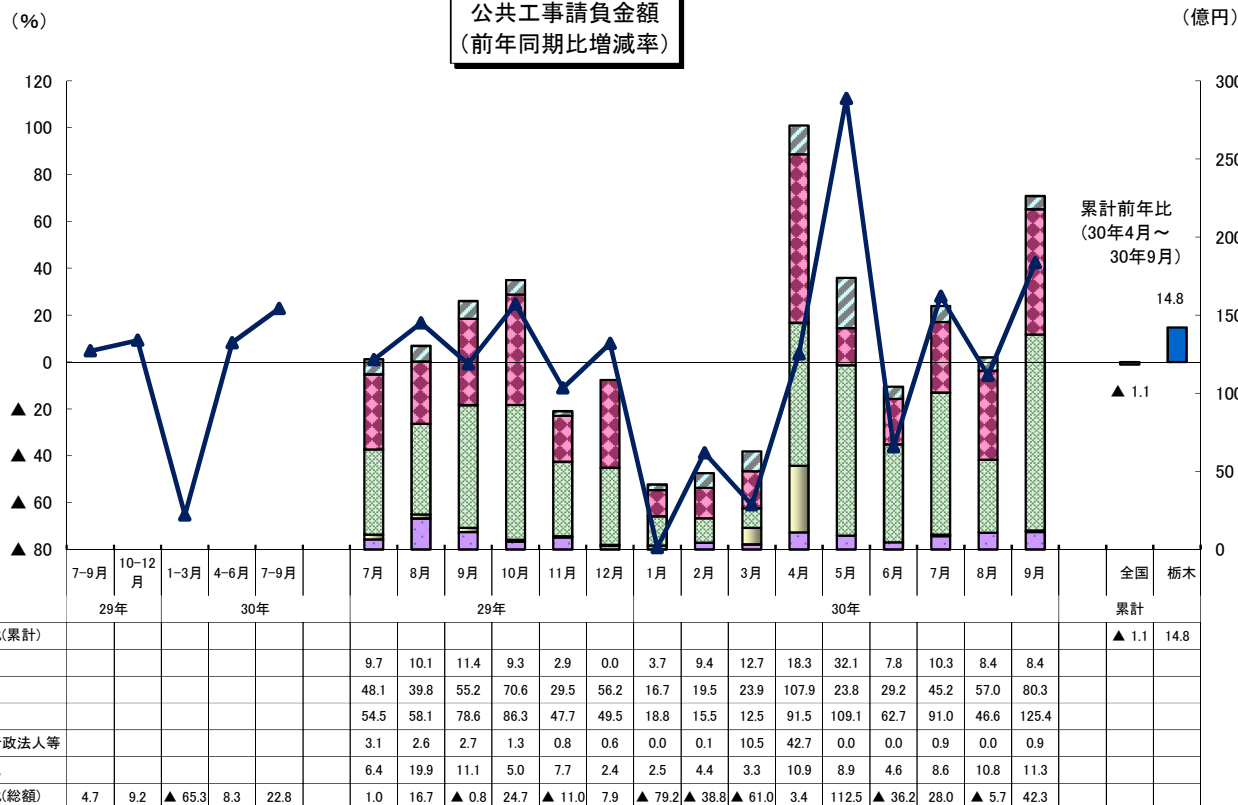


【国土交通省】

8. 公共事業

前年を上回っている

公共工事請負金額
(前年同期比増減率)

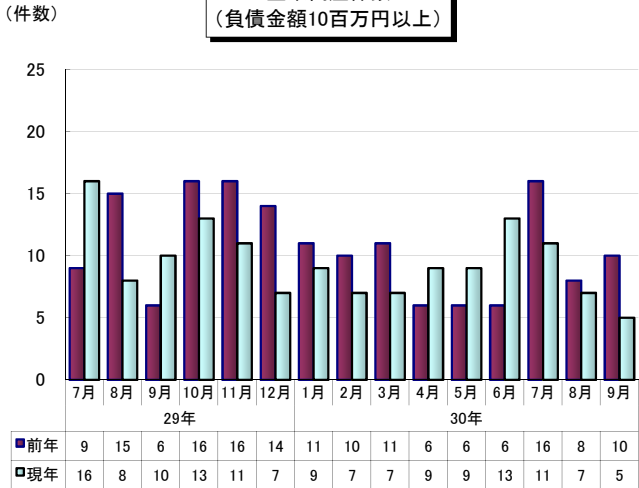


【北海道建設業信用保証株式会社、東日本建設業保証株式会社、西日本建設業保証株式会社】

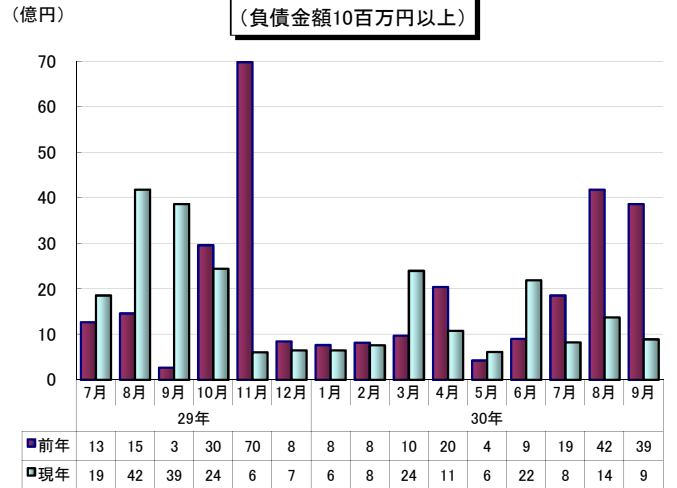
9. 企業倒産

件数、金額ともに前年を下回っている

企業倒産件数
(負債金額10百万円以上)



企業倒産負債金額
(負債金額10百万円以上)



【株東京商工リサーチ】